

## トピックス

電話相談事例：ここ数日、コロナの感染症拡大で立ち会い出産ができず悩んでいる妊婦さんからの電話相談が続いています。「立ち会い出産できないなら産みたくない」との訴えがありました。ただただ傾聴し気持ちが落ち着くまでお話ししました。妊婦さんは立ち会い出産できないことでより孤独さを感じているのでしょうか。出産時一番身近にいる助産師が妊婦さんの心身に寄り添えるよう今一度考えなくてはと思っています。

## お知らせ

○令和2年中国・四国地区助産師研修会が香川県で開催予定でしたがコロナウィルス感染拡大の影響を鑑みて令和3年10月2日(土)3日(日)に延期となりました。来年に向けて県内の助産師一丸となり準備してまいります。ご協力よろしくお願いたします。



## ～今年度の研修会及び行事～

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、急に変更する可能性があります。変更時は「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

日時	研修会・行事	場所
令和2年10月18日(日) 13:30～15:00	ウィメンズヘルスケアに活かす東洋医学 ※2 ぼっこ助産院院長 松尾真璃 CLoCMiP アドバンス助産師【WHC区分】WHC研修	岡田コミュニティセンター
令和3年1月24日(日) 9:30～12:30	「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」※1 香川県立保健医療大学准教授 竹内美由紀 高松赤十字大学病院助産師 熊野明江	香川大学医学部附属病院 地域医療教育支援センター (スキルラボラトリー)
令和3年2月14日(日) 10:00～12:00	「災害時に助産師が行うケア」 交渉中	

◎参加の申し込みについて

すこやか助産師センターに事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

TEL:087-844-4131 FAX:087-844-4130

電話受付時間：月～金曜日 10:00～16:00

※1「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」について

会員を優先します。非会員の申し込みは、令和2年9月7日(月)からとします。会員・非会員ともに申込期限は令和2年12月4日(金)16:00までです。ただし期限内であっても募集定員(18名)に達した場合はその時点で募集を終了します。申込時は認定番号、有効期限、所属施設、携帯番号を必ずお伝えください。

※2「ウィメンズヘルスケアに活かす東洋医学」について

必ず事前に申し込みをお願いいたします。感染予防対策のため参加人数は30名までとさせていただきます。申し込み後キャンセルされる場合もご連絡ください。リモート研修は検討の結果行いません。

☆コロナウィルス感染拡大防止のため、体調のすぐれないときは参加を控えてください。また参加される方はマスク着用のご協力をお願いいたします。

# とらうべ通信

2020.8月号  
No.94

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町1176  
発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

## 会長挨拶

会長 宮本 政子

香川県助産師会の会員の皆様、いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。書面決議ではありましたが、令和2年度の香川県助産師会の通常総会も終了し、新規事業計画を進めて参りたいと思います。今年度は新役員として助産師部会長に佐々木三千代様、総務担当に小原井恵美様にご就任いただきましたこと、大変心強く思っております。

新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)につきまして、東京では連日100人以上の感染者がでており、終息はまだ遠い彼方のような昨今です。そしてこの原稿を書いている今日のニュースは集中豪雨被害の悲惨な状況です。九州や岐阜・長野の川の氾濫状況がリアルに映像として飛び込んできます。今後も雨は更に大きな被害をもたらす可能性があります。例年起こる現象が何故回避できないのかと、悔しくなりますが、亡くなられた方々へのお悔やみと、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、香川県助産師会の今年度の事業計画では、産後ケア法案(母子保健法一部改正法案)が公布されたことも鑑み、産後ケア事業の評価委員会を立ち上げ、質の高いサービスが提供できるシステムやケア内容について検討したいと考えています。また、例年同様に香川県からの委託事業である妊娠・出産サポートの充実を図ることや、すこやか助産師センターでの各種教室も充実させたいと考えております。教育計画につきましては、今年度中国・四国地区研修会を担当する予定で研修会を少なくしておりました。中止に伴い増やす事も考えましたが、COVID-19の第2波や第3波も予測されるため集合型の研修は控えることとしました。当初の予定通り、総会で実施できなかった松尾真璃先生の「ウィメンズヘルスに活かす東洋医学」と災害時研修、「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」の研修のみとしました。最近はリモート方式で様々な研修や事業が行われており、COVID-19の終息が長引くようであれば、新たな研修方法も必要と考えております。

日本助産師会の動向では、今年度はCLoCMiP®レベルⅢの更新年度になっております。更新時期を迎えられた助産師の皆様にはぜひ更新をお願いします。更に、日本助産師会では産後ケア実務助産師研修を開始し、香川県助産師会の会員の方も20名の会員が認定申請をされました。産後ケア事業は地域における助産師活動の新しい局面に発展する可能性があり、多くの方が認定を受けていただき、助産師の力を地域で発揮されますことを期待しております。



## 今年の「いいお産の日」は特別企画になります

県内の周産期医療従事者や、妊産婦とご家族、育児サークルなど、様々な立場の人とともに“お産や子育てを語るつどい”として平成9年から開催してきたイベントですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を断念しました。それに代わり、お産や子育てに寄り添う助産師から、11月03日(いいおさん)の日を記念して、妊産婦さんへの情報提供を軸にした取り組みを進めています。

たくさんの方に届きますように、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします！

# 総会報告

2020 年度 公益社団法人 日本助産師会通常総会報告

報告：2020 年度 代議員 矢野 真知子

令和 2 年 5 月 28 日～30 日に松山市において「2020 年度公益社団法人日本助産師会通常総会・日本助産師学会学術集会」が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス拡大予防のため、現地での開催は中止となり、助産師学会は Web 上開催となりました。助産師同士の交流や、生の俳句の夏井先生の講演を楽しみにしていただけに残念です。私たち代議員の役割は、メールによる提出議案・報告事項・役員改選の賛否でした。5 月中旬ごろに総会資料が送付され、5 月 29 日に「第 1 号議案～第 4 号議案」の電子投票が行われ、出席代議員 117 名が参加しました。結果は、全議案承認されました。また詳細は「助産師」をご参照ください。新型コロナウイルスの影響で、(一社) 香川県助産師会の総会も中止となり、私たちも紙面上、メールでの対応を余儀なくされました。いろいろな仕事が直接対話が困難になる中、私たちの仕事は、会って話すことで、母子の体の変化や心の動きが見えてきます。その基本を踏まえつつ、これからもコロナウイルスと向き合う新しい生活様式に対応し、後退でなく、前進できるよう知恵を出し合って対処していきましょう。



令和 2 年度通常総会書面議決の結果について

報告) 小原井 恵美

令和 2 年度 (一社) 香川県助産師会通常総会は、皆様ご存知の通り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。そのため、総会は書面での議決とし、令和 2 年 5 月 7 日より、会員 134 名宛に「令和 2 年度 (一社) 香川県助産師会総会要項」、「書面表決書」及び「令和 2 年度改選が必要な理事の推薦について」を送付いたしました。結果について下記の通りご報告いたします。

## 記

- <議案>
- 1 号議案 令和 2 年度 (一社) 香川県助産師会事業計画 (案)
- 令和 2 年度 (一社) 香川県助産師会教育計画 (案)
- 2 号議案 令和 2 年度 (一社) 香川県助産師会収支予算 (案)

<結果>  
すべての議案について、反対意見なしで承認されました。

<理事改選について>  
令和 2 年 4 月 1 日発行のとらうべ通信において、改選が必要な理事の推薦についてお知らせいたしましたが、新たに立候補する会員はなく、推薦委員より次の 2 名が新理事として推薦されました。

総務担当 小原井 恵美  
助産所部会長 佐々木 三千代

<結果>  
反対意見なしで信任されました。

以上、今回初の試みとなりました書面議決ですが、皆様にはご協力いただきましたこと役員一同、心よりお礼申し上げます。また、新型コロナウイルスの影響により、様々な行事、教室等に影響が及んでいることと思っておりますが、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 学会報告

2020 年度 第 76 回日本助産師学会に参加して

報告) 佐々木三千代

5 月 28 日から 3 日間愛媛県において総会及び学会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるためインターネット学会となりました。

会長の言葉の中に、「できるだけプログラム通りの内容をインターネット配信できるように準備をしました。」とあったように、Web 上でのネット学会の内容はほぼ同じプログラムが盛り込まれており、参加者は 1500 人 (記憶に間違いがなければですが) と、たくさんの方がこの学会に参加されたようです。

今年度はアドバンス助産師の更新の年でもあるため、どの研修も CLoCMiP 研修に該当しており、自宅において研修ポイントがたくさん取れたことは良かったと思います。また、興味深い研修は何度も聞くことが出来ました。特に関心を持った内容は聖路加国際大学の堀内先生が研究されている「絆を育む：オキシトシン活性化研究」でした。出産に向けてオキシトシンを必要な時期にたくさん分泌させる方法や、正常に出産させるには妊娠中からの養生が大切であることが研究され納得させられるものでした。基本的な生活習慣にはちゃんと理由があることを妊婦健診で伝えていかななくてはと思っています。

ポスターセッションでは、香川県助産師会から 2 題が活動報告として参加しております。

Web 上では一部の閲覧が可能とあり、閲覧できたのは少なかったのが残念です。香川県は 2 題とも閲覧できるようになっていました。

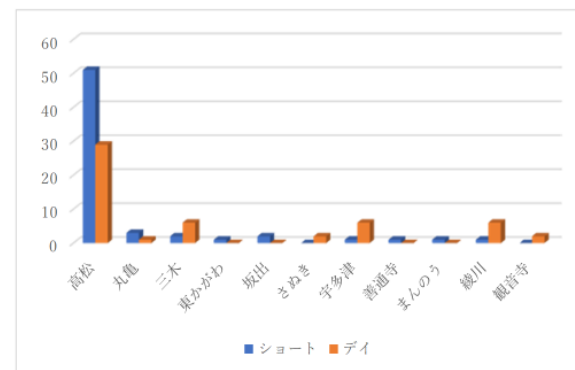
来年の開催地は青い空・青い海の沖縄県です。新型コロナウイルスの状況が予想できない状態ですが、全国の助産師の顔の見える学会ができるようにと願っております。

# 事業報告

## 2019 年産褥ケア事業報告

2019 年香川県内 17 市町で産後ケア事業を利用された方は、産褥ショート 63 名・産褥デイ 52 名でした。自治体別では高松市の利用者数がかつとも多く、利用理由では産褥ショートでは母体管理、産褥デイでは乳房管理が多いことが分かります。コロナウイルス感染拡大により妊娠・出産・産後の過ごし方が変わってきています。必要とされている方にはどうぞご紹介ください。

## 2019年の自治体別利用者数



## 2019年の利用理由

